

## 「知的財産教育講義ガイドンス 2009」発行にあたって

札幌医科大学「医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育（現代 GP）」における講義や e ラーニングを聴講する皆さんの便宜に資するため、知的財産教育講義ガイドンス 2009 を刊行いたします。

新しい医学研究の成果を医療の現場で実現させるためには、特許などの知的財産権の存在が欠かせません。研究者としましても、特許などの知的財産の制度に関して最低限の知識を持っていることが、有効な知的財産の確保のためには重要となります。また、産業界と手を組んで研究を進める過程においては、法律的な側面や倫理的な側面で留意しなければならない問題が出てきます。臨床研究や共同研究開発の道筋についての知識やノウハウも重要です。このような事情から、札幌医科大学では、医学研究者らを対象とした知的財産教育を進めております。

これら知的財産教育の取り組みの一部は、平成 17 年に、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）において、大学院生向けの「医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育」として選定されました。現代 GP の枠組みでは、大学や医療現場で研究を行っている大学院生の様々なニーズに適合したコース別知的財産教育を提供して参りましたが、平成 20 年度はその最終年度となります。

この間、研究に従事する上で最低限必要な知財リテラシーを身につけていただくため、様々な講義やシンポジウムなどの企画に取り組んで参りました。その実績が充実してまいりましたので、昨年はそれを纏めて「知的財産教育講義ガイドンス 2008」を刊行し、好評を得ました。今回は、それ以降にご講義をいただきました先生方に執筆をお願いし、2008 年版に追加する形で、2009 年版を発行することとしたものです。今回も前回同様、講義のテーマの内容に関連した問題意識を喚起するようなイントロダクション的な紹介文と設問を、各先生に執筆していただいております。お忙しい中ご無理をお願いしました諸先生方には、この場を借りて深くお礼申し上げます。

医学研究における様々な分野で活躍されている皆様に、本冊子が、知的財産に対する理解向上の一助となれば幸いです。

平成 21 年 3 月

札幌医科大学附属産学・地域連携センター副所長・弁理士  
知財教育実行組織チーフ  
医学部衛生学講座准教授  
石塙 正穂